

とうべつ

手にとって good 身近に

# 議会だより



No. 200

令和2年2月1日発行

記念特集号

## CONTENTS

### 12月定例会

12月定例会一般質問	4人の議員が15項目を質問	総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会	当別町150年記念事業の進め方は	とうべつ議会だより記念特集	創刊から48年 第200号を迎えました
p. 10	p. 8	p. 2			

見晴らしの水松（青山、樹齢推定1300年以上、高さ17m、直径2m、平成22年撮影）



# これまでも、これからも 町民と議会を結ぶ架け橋に

## 200号 記念

昭和47年1月に創刊した『とうべつ議会だより』は、48年の月日を重ね、第200号という記念すべき節目を迎えました。

手にとって読んでもらえる議会だよりを目指し、町民の皆様と議会を結ぶ架け橋になれるよう、今後も掲載記事や紙面の改善に努めていきます。



町民に寄り沿った議会の活性化・  
開かれた議会を目指して  
当別町議会 議長 後藤 正洋

当別町150年の記念すべき大きな年に、「とうべつ議会だより」も第200号という節目を迎えることとなりました。

第100号が発行された平成7年から今日まで、議会としての大きな取り組みの一つに「議会改革」があります。平成11年から今なお続く人口減少、平成15年度には町債残高が約197億円とピークを迎えた中、「議会改革」が始まりました。議員定数や議員報酬の削減はもとより、町民の皆様と議会との距離をより縮めるために情報公開にも積極的に取り組んで参りました。その一躍を担ってきたのが「議会だより」と考えております。

目まぐるしく変化する社会情勢の中、10年後、20年後を見据えながら町民の皆様と寄り沿った議会の活性化や開かれた議会を目指して、今後も不断の「議会改革」に努めて参ります。



創刊号（昭和47年1月発行）

当別 議会だより

No. 50  
昭和57年12月  
発行 当別町議会  
編集 議会広報特別委員会



伊達和利館・自前伊達記念館オープン

議会の  
うごき

第50号（昭和57年12月発行）



とうべつ議会だより  
第200号記念に寄せて  
当別町長 宮司 正毅

「とうべつ議会だより」第1号は札幌冬季オリンピック開催と時を同じく創刊され、そして第200号が当別町150年を迎える大きな節目の年に発刊されますこと、心からお慶び申し上げます。

私もかつては議会広報特別委員会委員として編集に携わった一人ですが、就任して間もなく「議会改革に係る特集」記事に関わった際、「解りやすさ・透明性・町民目線」などのポイントを外さずに「親しみやすい記事にまとめ上げる」編集作業の奥深さを痛感した記憶が思い起こされます。そのような経験からも、48年もの長きにわたり編集に携わってこられた多くの関係者の皆様のご努力には深甚なる敬意を表する次第です。

議会、行政の動きを多くの皆様に伝える広報誌として重要な役割を担う議会だよりが、第200号発刊を契機に、更なる発展を遂げられますことを期待申し上げ、お祝いの言葉と致します。





とうべつ議会だより

目次

- 第100号発行記念特集 2~8
- 第4回定例会議案審議 9~10
- 第1回臨時会 10
- 一般質問 11~17
- 議案・議決 18
- 委員会報告書 18
- 議会の活動の一瞥 19
- 議会のうらさき 20

記念特集号



第100号(平成7年3月発行)



益々住み良い町づくりの一途に

元議会広報特別委員会委員長  
(100号発行) 小武 正寿

定められた1年4回の定例議会を基に発刊200号となり、半世紀の長きにわたり、目的と役割を果たして来られた事に心からお慶び申し上げますと共に、その間、数多くの関係者のご苦勞に深く敬意を表します。創刊第1号の昭和47年1月の発刊(この時、町の「広報とうべつ」は既に220号)に携わった初代委員の一人、今尚お元気でられる堀 梅治さんに当時のご苦勞を伺いました。戦後の民主制時代とは言え、他市町村議会の発行は数少ない中で賛成多数は難しかった。また、これまで議員の権利である一般質問が実施されていない等の改革を決断し創刊となった。

目まぐるしく変わりゆく社会環境の中にあつて、常に先取りで町民生活向上。町づくりと共に「関心のもたれる議会活動」が議会だよりを通してお茶の間の皆さんと益々住み良い町づくりの一途となりますようご祈念いたします。



第200号記念の刊行に当り

議会広報特別委員会委員長  
秋場 信一

議会だより第100号発行からの25年間は、当別町にとって人口の膨張と財政の緊縮が象徴的な歩みであったことが数字によく表れていると感じます。

「議会だより」は、時代とともに伝え方や表現を変化させてきました。また、町の行政広報との住み分けをしつつ、政策決定までの形成過程を伝えることを編集の根幹にしてきました。

議会だよりの未来に向けて元モニター3名の方にお祝いの言葉をいただきました。町民と議会との距離を縮め、探求を欠くことなく、あくまでも広報はその手段であることを後へ繋いでいきたいと考えています。

表紙は、風雪に耐え、1300年以上前から当別町を見つめてきた「見晴らしの水松」。未来に向け変わらず当別町を励まし続けてくれるであろう。想いを込め。

とうべつ議会だより No.150



第150号(平成19年8月発行)

(※敬称略)

歴代議会広報特別委員会委員

H7.5	◎湯浅 俊一	○保谷 幸男 (H7.5.28 逝去)
	柏樹 正	村上 弘志 (H7.6.26 副委員長就任)
	後藤 正洋	木屋路喜一郎
	小寺 和昭	島田 裕司
H9.6	◎菊崎 善雄 (H10.11.30 逝去)	○小寺 和昭
	柏樹 正	村上 弘志
	内海 英徳 (H10.12.17 委員長就任)	前澤 昭治
	木屋路喜一郎	島田 裕司
H11.5	◎島田 裕司	○小野 廣實
	小寺 和昭	桐井 信征
	市川 正	岡野喜代治
	白木 和廣	山田 明美

H13.6	◎島田 裕司	○小野 廣實
	小寺 和昭	桐井 信征
	市川 正	岡野喜代治
	白木 和廣	山田 明美
H15.5	◎小野 廣實	○岡野喜代治
	桑内 雅彦	臼杵 英男
	石川 和榮	稲村 勝俊
	◎岡野喜代治	○臼杵 英男
H17.6	◎岡野喜代治	○臼杵 英男
	桑内 雅彦	小早川孝男
	石川 和榮	稲村 勝俊
	◎臼杵 英男	○稲村 勝俊
H19.5	◎臼杵 英男	○稲村 勝俊
	桑内 雅彦	小早川孝男
	石川 和榮	洞内真由美
	◎臼杵 英男	○石川 和榮
H21.6	◎臼杵 英男	○石川 和榮
	桑内 雅彦	小早川孝男
	稲村 勝俊	洞内真由美

H23.5	◎小早川孝男	○神林 俊一
	澁谷 俊和	宮司 正毅
	古谷 陽一	山田 明
H25.6	◎柏樹 正	○山田 明
	小早川孝男	石川 和榮
	◎宮司 正毅 (H25.6.28 議員辞職)	古谷 陽一 (H25.8.9 委員就任)
H27.5	◎石川 和榮	○山崎 公司
	鈴木 岩夫	五十嵐信子
	佐藤 立	
H29.6	◎古谷 陽一	○佐藤 立
	秋場 信一	鈴木 岩夫
	五十嵐信子	
R元.5	◎秋場 信一	○鈴木 岩夫
	西村 良伸	佐々木常子
	櫻井 紀栄	



100号から

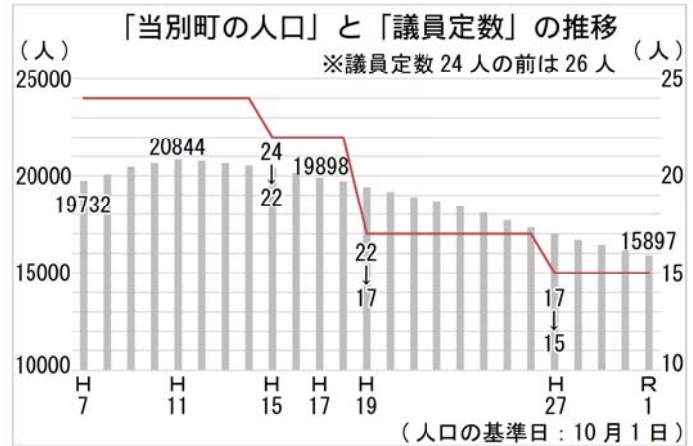
## 200号まで 議会の歩み

議会だより第100号が平成7年に発行されてから25年間、2つの大きな変化があります。1つ目は、多額のインフラ整備により町債残高が大幅に増加し、財政再建のための議員定数や期末手当などの削減がされたこと。2つ目は、

住民との距離を縮めるための議会改革として制度改正や情報公開があります。これら2つを中心に議会の歩みをまとめました。

なお、当別町議会ホームページに過去の議会だよりを掲載していますので、ご覧ください。

平成7年3月	● 議会だより第100号記念発行
12月	● 第10回定例会で緊急質問
平成8年12月	● 札幌広域圏組合の設立に関する審査特別委員会設置(～H9.1)
平成9年10月	● 平成9年産米緊急対策特別委員会設置(～H10.2)
平成10年8月	● 政府米の買入を求め新たな米政策に対応する特別委員会設置(～H11.3)
平成11年9月	● 第6回定例会で議案3件否決
11月	● 第8回臨時会流会 ● 議員期末手当0.25月分減額、さらに単年度0.1月分減額
平成12年6月	● 議場にテレビカメラ導入、町民ホールにモニターテレビを設置
11月	● 議員期末手当0.15月分減額
平成13年11月	● 議員期末手当0.05月分減額
平成14年3月	● 学園都市線電化・複線化促進特別委員会調査終了(H5.6～) ● 当別大通整備促進審査特別委員会調査終了(H5.6～)
4月	● 議員の海外派遣凍結(～現在)
10月	● 議会初の「子ども議会」開催
11月	● 議員期末手当0.05月分減額
平成15年5月	● 議員定数削減(24人→22人) ● 常任委員会統合 ● 政務調査費交付開始
6月	● 会派制導入、会派代表者会議設置
12月	● 議員期末手当0.2月分減額
平成16年4月	● 議員期末手当単年度20%減額
平成17年4月	● 議員期末手当単年度20%減額
平成18年4月	● 議員期末手当単年度25%減額 ● 道外所管事務調査凍結(～H28.3)
平成19年4月	● 議員期末手当加算率30%減額、支給月数0.9月分増額 ● 議員期末手当単年度50%減額 ● 政務調査費凍結(～H22.3)
5月	● 議員定数削減(22人→17人) ● 常任委員会統合 ● 議会だより第150号発行
平成20年4月	● 議員期末手当単年度40%減額
平成21年4月	● 議員期末手当単年度10%減額



第2回子ども議会(平成15年10月)

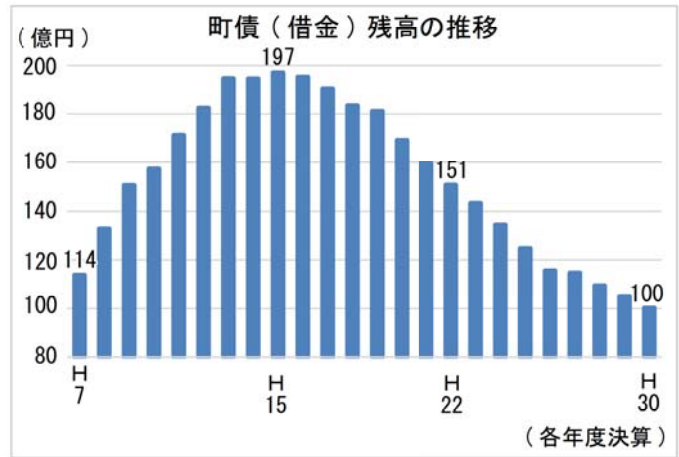
## 常任委員会の改変



第1回当別町議会報告会(平成25年3月)



- 平成 21 年 6 月 ● 学園都市線電化促進  
特別委員会設置 (～H24.12)
- 平成 22 年 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 平成 23 年 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 11 月 ● 第 5 回臨時会で懲罰動議可決、  
懲罰特別委員会設置
- 12 月 ● 第 6 回定例会で懲罰動議可決、  
懲罰特別委員会設置
- 平成 24 年 1 月 ● とうべつ議会だより号外発行
- 2 月 ● 「政務調査費の手引き」策定  
(H25.4改正「政務活動費の手引き」)
- 3 月 ● 議長公用車廃止
- 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 6 月 ● 当別町議会議員政治倫理条例制定  
● 平成 23 年度政務調査費の  
監査請求に関する決議可決
- 9 月 ● 平成 23 年度政務調査費  
返還勧告決議可決
- 10 月 ● 産業建設・総務文教厚生合同  
常任委員会開催 (～H24.12)
- 12 月 ● 「政務調査費」を  
「政務活動費」に名称変更
- 平成 25 年 1 月 ● 当別町議会改革推進  
協議会設置 (～H26.6)
- 2 月 ● 議会だよりで議案に  
対する賛否を公開
- 3 月 ● 政務活動費の精算払い導入  
● 議会初の議会報告会開催
- 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務活動費単年度 20%減額
- 8 月 ● 常任委員会名称変更
- 平成 26 年 4 月 ● 議員期末手当加算 (15%) 廃止
- 平成 27 年 5 月 ● 議員定数削減 (17 人→15 人)
- 9 月 ● (試行)「本会議」の  
インターネット中継開始
- 12 月 ● 「本会議」の  
インターネット中継開始
- 平成 29 年 12 月 ● (試行)とうべつ議会だより  
モニター制度導入 (～H30.12)
- 当別町公共施設に関するあり方  
検討特別委員会設置 (～現在)
- 平成 30 年 3 月 ● サタデー議会開催 (議員協議会)
- 7 月 ● 「本会議」の会議録の  
ホームページ公開開始
- 9 月 ● 「会期中の常任委員会」・「決算  
審査特別委員会」のインター  
ネット中継開始
- 平成 31 年 3 月 ● 「予算審査特別委員会」の  
インターネット中継開始
- 令和 2 年 2 月 ● 議会だより第 200 号記念発行



議会改革推進協議会の研修会 (平成 25 年 9 月)



サタデー議会 (平成 30 年 3 月)

当別町議会ホームページ (「当別町議会」で検索)



# 議会改革

## 町民の声に応えるために

### なぜ議会改革を始めたのか？

平成 15 年、当別町は、新篠津村・月形町との任意合併協議会を解散し、自立を目指して行財政再構築プランの策定にとりかかり、そのパブリックコメント（住民の意見）で「経費を削減するのなら、議員定数、議員報酬を先に削減すべきだ」との声がありました。

平成 16 年 12 月に当時の議長は、「議会もできることがあるはず」と考え、町民の理解を得られるような意見集約を議会運営委員会に付託しました。

#### 議会運営委員会

- ①議員定数削減
- ②議員報酬削減
- ③常任委員会の数の見直し など

#### 議会改革推進協議会

設置目的…議会改革に関する事項を議長を除く議員全員で協議し、さらなる議会改革の取り組みを推進

- ①議会基本条例制定
- ②議員定数削減
- ③住民との意見交換会（平成 25 年 3 月議会報告会開始） など

協議会解散後も議会運営委員会で情報公開や議会報告会など議会改革について検討しています。

### 情報公開

#### 議会インターネット中継開始

「本会議」「会期中の常任委員会」「予算審査特別委員会」「決算審査特別委員会」のライブ中継と録画中継を開始

#### 議案に対する賛否の公表

「どうべつ議会だより」で議案の賛否が分かれた場合に公表

#### 議事録のホームページへの掲載

当別町議会ホームページに「本会議」の議事録を掲載

#### 「どうべつ議会だより」の充実

モニター制度を導入し全てのページをリニューアル

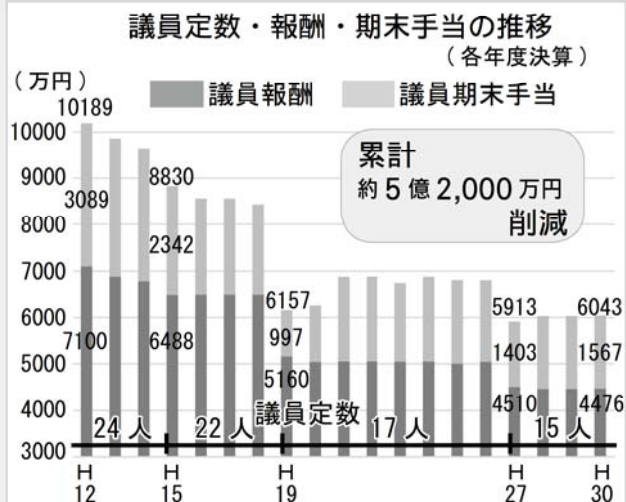
#### 会議日程の公表

各定例会の日程を速やかに公表

#### 会議資料の配布・ホームページへの掲載

会議日程や一般質問要旨などの一部を配布・掲載

### 議員定数・報酬・期末手当の削減



全議員の「議員報酬」と「議員期末手当」の総額は、平成 12 年度決算では 1 億 0,189 万円でしたが、平成 13 年度以降に議員定数・議員報酬・議員期末手当を削減したことにより、平成 30 年度決算では 6,043 万円と 4 割を超える減額となっています。

仮に、平成 12 年度と平成 13 年度から平成 30 年度までの各年度の決算を比較すると、削減による総額の試算は、累計で約 5 億 2,000 万円となります。

### 政務活動費

#### 政務活動費を概算払いから精算払いに変更

「政務活動費」とは、会派または議員の調査研究に資するための必要な経費として、当別町では、一人当たり年間 12 万円を上限に交付しています。

政務活動費は、以前、年度当初に全額を交付（概算払い）していましたが、使途基準に合致しない支出があり、返還請求に至ったケースがありました。そのため、当時、他の議会ではほぼ採用されていなかった精算払いを導入し、議員が支出報告書と証拠書類を提出し、確認後に政務活動費を交付することにしました。

### 引き続き検討する主な項目

- 本会議及び委員会の夜間・土日開催
- 議会報告会の継続とあり方
- 過去の情報（日程・会議資料・議決結果・録画・議事録等）の掲載
- 政務活動費のあり方 など



# これからの議会だより

とうべつ議会だよりモニターを務めていただいた3名の方からメッセージをいただきました。



## 意見の反映の早さに驚いた

元とうべつ議会だよりモニター 宮入 淳誌

この度、「とうべつ議会だより」の第200号が発行されましたことに、心よりお祝い申し上げます。

第1回目のモニター会議では、議会だよりの読みやすい所、読みづらい所、気になった点などを意見させていただきました。後日、議会だよりの最新号が発行され、拝見いたしましたところ、私の意見が反映されており、意見の反映の早さに驚きました。その後、何度もモニター会議を重ね、更に議会だよりが読みやすく、分かりやすくなっていく過程が楽しく感じました。1年間貴重な経験をさせていただきまして、ありがとうございました。

議会広報特別委員会の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



第1回モニター会議 (H29.12.6)



第2回モニター会議 (H30.8.30)



## 幅広い世代に関心を持って

もらえるような議会だよりに

元とうべつ議会だよりモニター 戸来 興貴

とうべつ議会だよりが200号を迎えられますこと、お祝い申し上げます。

私は、議会だよりモニターとして町内のメンバーと広報特別委員会の皆さんと共に数回会議に参加しました。自身に関わる事になり、より関心を持って読む様になっていきました。

回を重ねる毎に、表現や内容が変わり、誰が見ても分かり易い紙面となっていたのは、委員の皆さんの熱意があつての事だと思います。

また、議会だよりが外部から評価され、他町村からリニューアル状況を視察にいられたと聞き、嬉しく思いました。

これからも幅広い世代に関心を持ってもらえるような議会だよりとなるよう、ご活躍ご期待申し上げます。



## スピード感・行動力ある真摯な対応

元とうべつ議会だよりモニター 松岡 宏尚

「とうべつ議会だより」第200号の発刊おめでとうございます。そして議会だよりにモニターとして関わらせていただき、誠に有難うございました。

モニター会議では「どのようにすれば、町民の皆様により関心を持っていただくことが出来るか」「正確に伝えられるか」このような観点から、老若男女、様々な方々が様々な意見を出しながら数度の会議が行われましたが、会議の度に、今の時代に重要だと言われるスピード感・行動力を持って真摯に対応されていたのが印象的です。どんどんブラッシュアップされていく内容に、驚かされておりました。

今後も変わらない皆様のご活躍を祈念しております。



第3回モニター会議 (H30.12.10)

次のページは

常任委員会等審議

本会議前に、

委員会で説明と審議が行われます。